

政令市・特別区	市 20万人以上	市 10万人以上	市 10万人未満	町村	40%以上	35~40% 未満	30~35% 未満	25~30% 未満	20~25% 未満	20%未満
人 口					高齢化率（65歳以上人口割合）					

自治体名	長野県伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村	区分	広域（直営+委託）
キーワード	2段階の相談窓口体制、市町村・広域の機能分担と連携		

8市町村の広域整備における中核機関の分担と連携

I. 概要

1. 自治体概要（8市町村の合計）

人 口	183,768人
面 積	1348.44km ²
高齢化率	30.7%
地域包括支援センター	8か所
日常生活自立支援事業利用者数	106人
障害者相談支援事業所	106か所
療育手帳所持者数	1726人
精神障害者保健福祉手帳取得者数	1828人

(2018年度末時点)
(日常生活自立支援事業利用者数は2018（H30）年度実績、伊那市を除く）



2. 成年後見制度の関連状況

①成年後見制度利用者数

利用者数 (合計)	後見	保佐	補助	任意後見
341人	278人	52人	11人	

(2018（H30）年10月末時点)

②市長申立て件数

年 度	2016年	2017年	2018年	2019年 (8月末時点)
件 数	21件	23件	20件	6件
内 訳	高齢者	16件	13件	6件
	障害者	5件	7件	0件

③市民後見人養成状況等

養成者数 (累計)	後見受任者数	法人後見 支援員 (実働数)	日常生活自立支援 事業生活支援員 (実働数)
34人	6人	4人	0人

(2018（H30）年度末時点)

3. 事例のポイント

▶市町村中核機関（直営）+

広域中核機関（伊那市社協）という二段階整備

広域整備の上伊那成年後見センターとは別に、「市町村中核機関」として自治体の担当課を位置づけ、専門相談や市民後見人の育成等広域実施が有効な取組をセンターが担う。

▶2層の「地域連携ネットワーク」

市町村単位のネットワーク（市町村協議会、検討・専門判断会議、チーム会議）と、上伊那圏域全体の地域連携ネットワーク（上伊那全体協議会）を整備。ネットワーク間で連携をとりつつ、領域にあった役割、検討を実施。

▶市町村中核機関担当者の研修

市町村中核機関の担当者に対し、その市町村で実際に起こった具体的な事例を基に、実務研修を定期開催。

既存機関の活用	計画の策定
条例の制定	取組 定住自立圏域
支援検討	アセスメント・ 窓口周知 広報・相談、 相談受付の工夫
調整	他制度との連携
市町村長申立	受任調整会議
市民後見人養成	推薦 後見人候補者
法人後見	親族申立の 相談・支援
活用	補助・保佐の 親族後見人支援
任意後見制度	モニタリング・ バックアップ
取り扱い	個人情報 意思決定支援
連携	都道府県等との 協議体、合議体 の設置
連携	当事者団体との 家裁との連携
不正防止（効果）	専門職団体との 連携

Ⅱ. 中核機関立上げのプロセス

上伊那成年後見センターの設立経緯については、「地域における成年後見制度利用促進に向けた

体制整備のための手引き」P47-48をご参照ください。

Ⅲ. 上伊那県域における体制の特徴について

1. 中核機関の体制

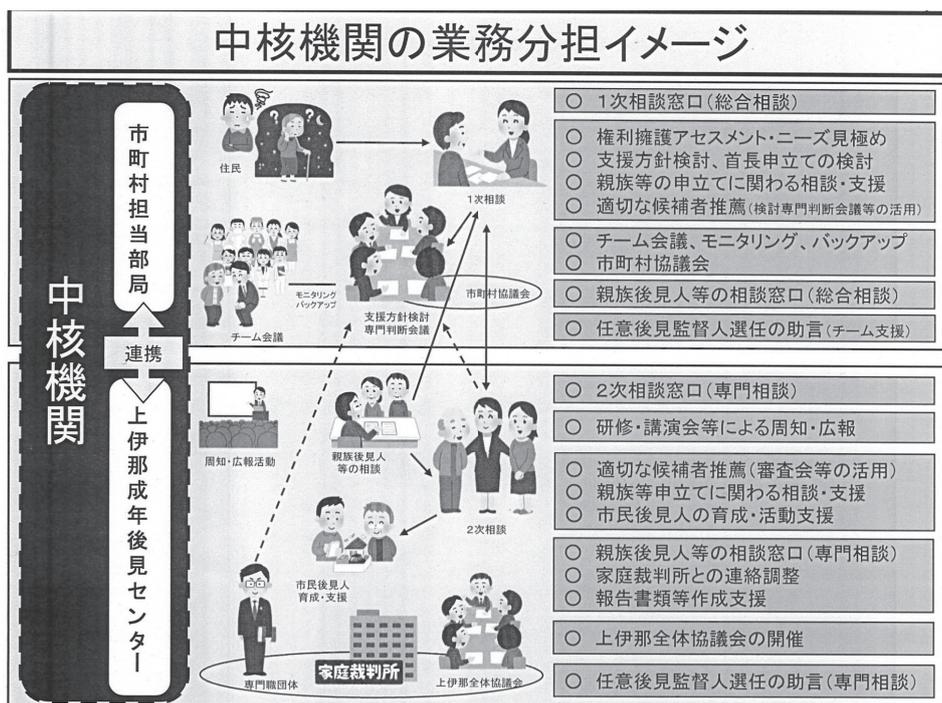
「市町村中核機関」として自治体の担当課を位置づけるとともに、専門相談や市民後見人等広域実施が有効な取組を上伊那成年後見センターが担っています。

市町村担当部局では、1次相談窓口（総合相談）として、本人や親族、関係者からの相談対応、権利擁護アセスメント、ニーズ見極め、チームの支援等を行っています。

上伊那成年後見センターでは、2次相談窓口

（専門相談）として、1次相談窓口等からつながってきた専門相談への対応、研修・講演会等による周知・広報、審査会等による適切な候補者推薦、家裁との連絡調整、市民後見人の育成・活動支援等を行っています。

このような2層体制を作ることで、住民が身近な相談窓口相談しやすくなることとともに、1次相談窓口職員に当事者意識が生まれ、スキルアップにつながっています。



2. 二層（市町村・上伊那圏域）の地域連携ネットワーク

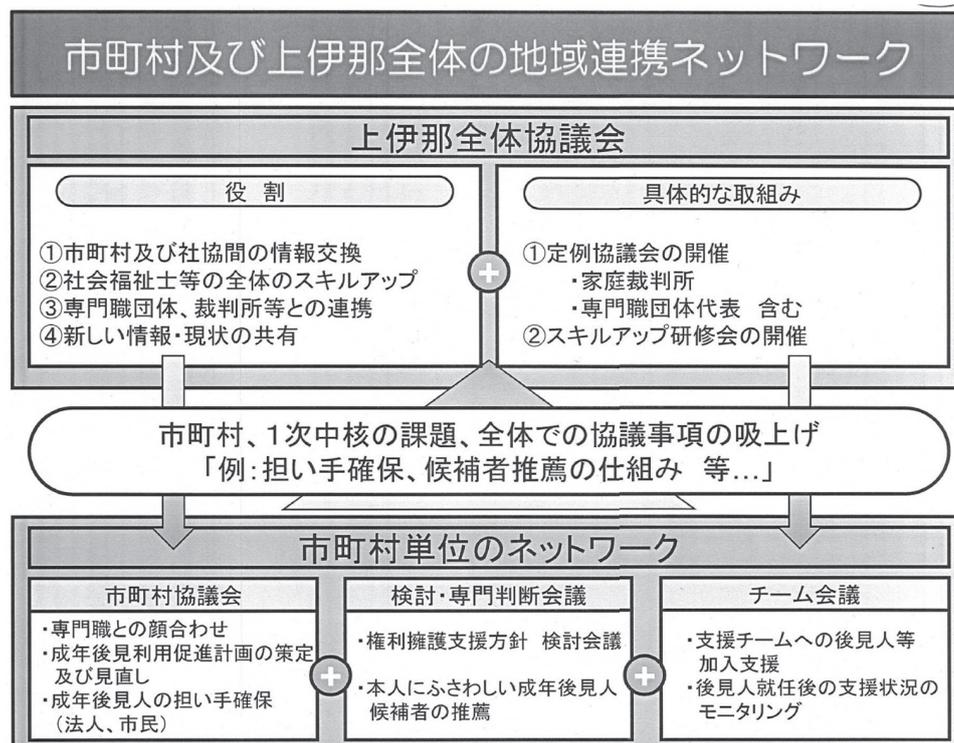
新たな中核機関の体制整備を機に、上伊那圏域では、8市町村単位のネットワークとして「市町村協議会」、上伊那全体の地域連携ネットワークとして「上伊那全体協議会」の、二層によるネットワークを整備しました。

当初は、「上伊那全体協議会」のみの設置を想定していましたが、1次窓口である市町村単位で「検討・専門判断会議」を開催する際には、専門職との連携が必要不可欠であり、上伊那地域では、市町村ごとに成年後見利用促進計画を策定することから、市町村単位の協議会を設置しました。

市町村単位では、「市町村協議会」、「検討・専

門判断会議」、「チーム会議」を実施し、上伊那地域の「上伊那全体協議会」では、市町村及び社協間の情報交換、社会福祉士等職員のスキルアップ、専門職団体・裁判所との連携、情報共有等を行っています。

市町村・広域二層のネットワーク間で連携をとりつつ、領域にあった役割、検討を実施していますが、このように市町村単位でも検討する場を設けることで、専門職との連携が取りやすくなり、ケースへの対応力の向上や迅速な対応が可能になると考えます。



3. スキルアップ研修会の実施

上伊那成年後見センターでは、市町村中核機関の担当者を対象に、実務に関する「中核機関スキルアップ研修」を定期的に開催しています。

研修では、相談対応スキルアップのために実際に市町村中核機関で関わったアセスメント・ニーズ判断に迷った事例検討や、各市町村における成年後見制度利用促進計画策定の状況報告、成年後見制度に関するやニーズ調査の報告など、市町村の取組報告、情報交換を行っています。

「中核機関スキルアップ研修」は、具体的な実

務に直接つながる内容であると同時に、各市町村における相談・チーム支援、市町村協議会の運営などを話し合い、市町村の取組を参考にし合える場となっています。

8市町村で取組みの進捗に差がありますが、先行している市町村の状況を参考にしながら進めることができ、令和元年度では、「市町村協議会」の開催が1ヶ所から2ヶ所へ、「成年後見制度利用促進計画」の策定が3ヶ所から4ヶ所へ増加しました。



中核機関スキルアップ研修の様子

担当者より

中核機関は、各市町村に整備しました。少しずつでも進めて行けるのではないかと思います。

何か困ったことがあるとき広域の中核機関である社協に聞くことができること、他の自治体とざくばらんに協議できる場があるのが良いと思っています。



■参考URL 連絡先

伊那市 保健福祉部 福祉相談課	TEL：0265-78-4111
駒ヶ根市 地域保健課	TEL：0265-81-6695
辰野町 保健福祉課	TEL：0266-41-1111
箕輪町 福祉課	TEL：0265-70-6622
飯島町 健康福祉課	TEL：0265-86-3111
南箕輪町 健康福祉課	TEL：0265-72-2105
中川村 保健福祉課	TEL：0265-88-3001
宮田村 福祉課	TEL：0265-85-4128

伊那市社会福祉協議会 上伊那成年後見センター
TEL：0265-96-8008